

静岡県の医療関連団体と県民とをつなぐ



MEDI-Message

メディアメッセージ



静岡県医師会

- 2007年に県内企業(協和医科器械株式会社ほか)が医療機器の展示イベントを医療関係者向けに行った。
- それを知った浜松市医師会の会員が浜松市医師会と病院関係者に協力を求め、2008年からは、郡市医師会を巻き込んだ一般市民向けの医療啓発イベントとなった。
- その後、年1回、東部・中部・西部にて定期開催している。
- 2019年からは、静岡県医師会と県行政が実行委員会に加わり、県内の医療関連団体との連携をより強化した。
- 2024年からは、イベント初日の夜に医療関連団体を一堂に集め、関係者間の情報交換が図れる場ともしている。

開催の歩みと経緯



開催年／開催市	開催月日	会場	来場者数
2007／静岡	10月13日（土）	グランシップ大ホール 海	約500名（医療関係者）
2008／浜松	11月29日（土）・30日（日）	アクトシティ浜松 展示イベントホール	約5,000人
2009／沼津	9月12日（土）・13日（日）	キラメッセぬまづ 多目的ホール	約6,000人
2010／静岡	10月24日（土）・25日（日）	ツインメッセ静岡 南館大展示場	約6,500人
2011／浜松	10月1日（土）・2日（日）	アクトシティ浜松 展示イベントホール	約7,000人
2013／沼津	8月31日（土）・9月1日（日）	キラメッセぬまづ 多目的ホール	約7,000人
2014／静岡	10月25日（土）・26日（日）	ツインメッセ静岡 北館大展示場	約6,000人
2015／浜松	11月21日（土）・22日（日）	アクトシティ浜松 展示イベントホール	約6,000人
2018／浜松	11月23日（金・祝）・24日（土）	アクトシティ浜松 展示イベントホール	約6,000人
2019／静岡	9月28日（土）・29日（日）	ツインメッセ静岡 北館大展示場	約9,000人
2022／沼津	11月26日（土）・27日（日）	キラメッセぬまづ 多目的ホール	約5,000人
2023／浜松	10月28日（土）・29日（日）	アクトシティ浜松 展示イベントホール	約5,500人
2024／静岡	10月26日（土）・27日（日）	ツインメッセ静岡 南館大展示場	約5,500人
2025／沼津	11月15日（土）・16日（日） 予定	キラメッセぬまづ 多目的ホール	

ポリシーと活動理念



ポリシー



入場・体験無料

広く地域の皆様にご来場いただけるように入場も体験も無料に。医療機器メーカーの皆様にもご協力をいただいています。

子供から大人まで

お子様を連れてご家族でご来場いただいても楽しめるように、幅広い体験やわかりやすい解説を用意しています。

医療機器は本物

医療の現場で使用される機器やシミュレーターを使って、できるだけ本物の技術に触れていただくことを目指しています。

現役の医療スタッフ

担い手が育つことを願って、医療の現場で働く現役の医療従事者の皆様がスタッフとして機器の操作や仕事の内容を教えます。

みんなでつくる

地域の医療がそうであるように、医療に関わる様々な職種が力を合わせ、ひとつのイベントをつくりあげます。

活動理念



- 医療機関と地域の皆さまとが対話できる機会を積極的につくります。
- 医療スタッフの皆さまの努力と情熱を地域に伝え、理解を図ります。
- 地域の皆さまの声を医療関係者に届け、医療環境の改善に努めます。
- 医療環境のあるべき姿を見つめ、地域社会に向けて啓発を行います。
- 医療技術情報を地域に発信し、よりよい医療環境づくりを目指します。
- 医療に関わる仕事の大切さを伝え、この分野の担い手をつくります。

メディメッセージ2024開催概要



メディメッセージ2024



<https://medi-message.com/>

実施日	令和6年10月26（土）・27日（日）
場 所	ツインメッセ静岡 南館大展示場
対象者	一般市民
参加費	無料
目 的	静岡県医師会が主体となり、県行政と地域の企業等と共同して、静岡県内の医療関連団体の諸活動を一般市民に知ってもらう
来場者	約5,500人（2日間）
運営スタッフ	医療関係者を中心とした延1,036人
主 催	メディメッセージ2024実行委員会 ※官民が連携した実行委員会を立ち上げて実施 （一般社団法人静岡県医師会／静岡県／公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構 ファルマバレーセンター／協和医科器械株式会社／株式会社アルバース）

- | | |
|--|--|
| ☐ 静岡県歯科医師会 | ☐ 静岡県歯科技工士会 |
| ☐ 静岡県薬剤師会 | ☐ 静岡市薬剤師会 |
| ☐ 静岡県病院薬剤師会 | ☐ 静岡県看護協会 |
| ☐ 静岡県臨床衛生検査技師会 | ☐ 静岡県臨床工学技士会 |
| ☐ 静岡県放射線技師会 | ☐ 静岡県理学療法士会 |
| ☐ 静岡県作業療法士会 | ☐ 静岡県栄養士会 |
| ☐ 静岡県視能訓練士の会 | ☐ 静岡市消防局 |
| ☐ 静岡県立大学食品栄養科学部 | ☐ 専門学校中央医療健康大学校 |

開催準備 – 流れとポイント（１）



- 2024年4月 実行員会を発足し、キックオフ・ミーティングを開催
- 2024年5月以降 静岡県医師会の代表者を含むメンバーが月１回のペースで運営準備委員会を開催

ポイント

静岡県医師会と地元企業との役割分担

静岡県医師会

- 開催地区の病院代表者への趣意説明・協力依頼
- 当日参加する医師等への協力依頼（ボランティア参加）

地元企業

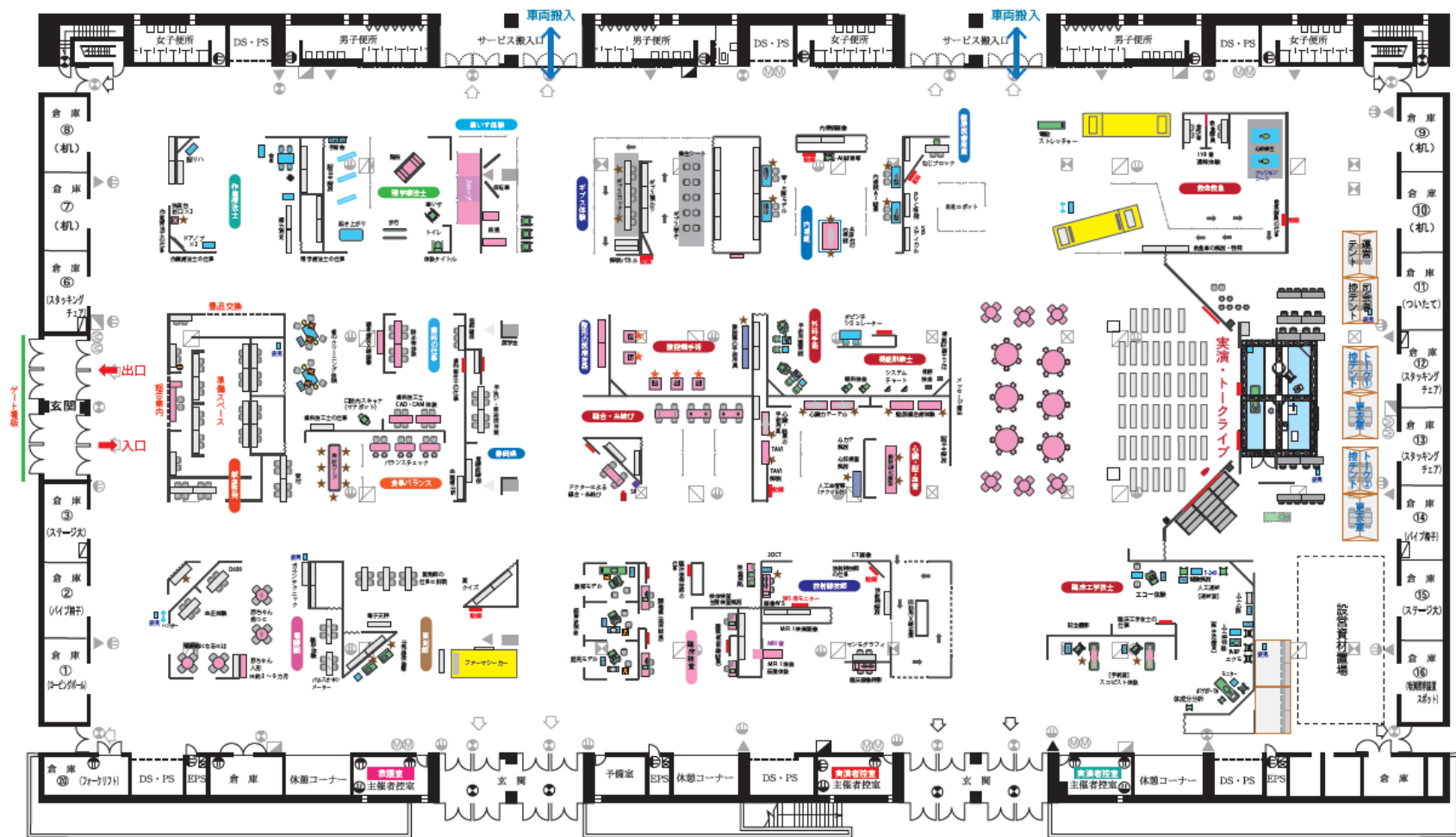
- イベント開催における会場費等の費用負担
- 協力団体・後援団体等への連絡調整、広報活動等

開催準備　－流れとポイント（２）



- 参加者として小中学生とその保護者が多いことから、参加地域の小中学校に向けて広報ができるように教育委員会等の理解が重要になる。
- マスコミに関心をもってもらい、メディアによる事前及び当日のTV放送などを通じて集客の増強を図る。
- 会場設営や各種機器の設置には専門業者への依頼を行う。
- 当日の参加者に会場をくまなく回ってもらうために、スタンプラリー等による景品提供を企画する。
- 急病人の発生時対応として、救護室を用意するとともに、看護協会への協力依頼を行う。

メディメッセージ2024会場レイアウト



メディアメッセージ2024開催の様様

メディアメッセージ



会場全体の様子

実演や体験の様子



主催団体挨拶
静岡県医師会長（加陽直実）



メディアメッセージ2024開催の様様



オペ室を再現したスペースに大型ビジョンを含む映像と音響設備を設置し、実演やトークライブを行っています。



腹腔鏡手術の実演

外科医師、麻酔科医師、手術室看護師、臨床工学技士が登壇し、麻酔の挿管から手術までを解説しながら実演を行う。子どもたちの登場シーンも設けている。



心臓カテーテルの実演

循環器内科の医師が登壇し、急性心筋梗塞の症状を説明したうえで、解説しながら実演を行う。子どもたちからの質問コーナーも設けている。



静岡県看護協会



静岡県臨床衛生検査技師会・工学技士会・
診療放射線技師会

トークライブ

各職種の担い手づくりを主な目的にトークライブを行っている。静岡県医師会がコーディネーターを務め、各医療団体より出演者が登壇してテーマに沿ったトークを展開する。

メディメッセージ2024 広報ツール等

メディメッセージ



テレビCM

- 静岡県内で約2週間にわたって放映

ポスター・チラシ

- 静岡県中部エリアの教育機関286校に配布
- 各協力団体・後援団体に配布を依頼
- 会場周辺エリアでのポスティングを実施



静岡鉄道中吊ポスター

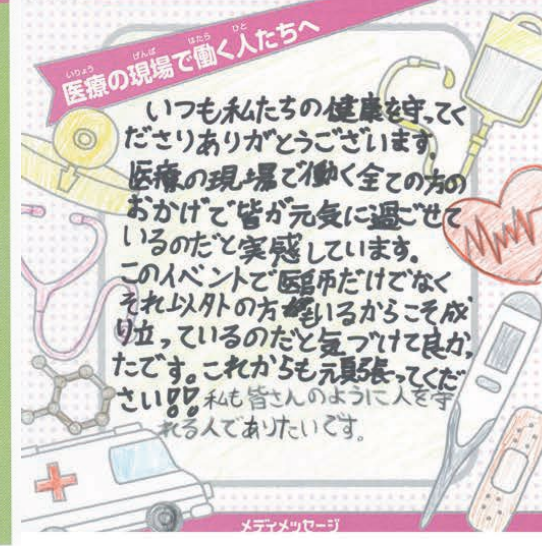
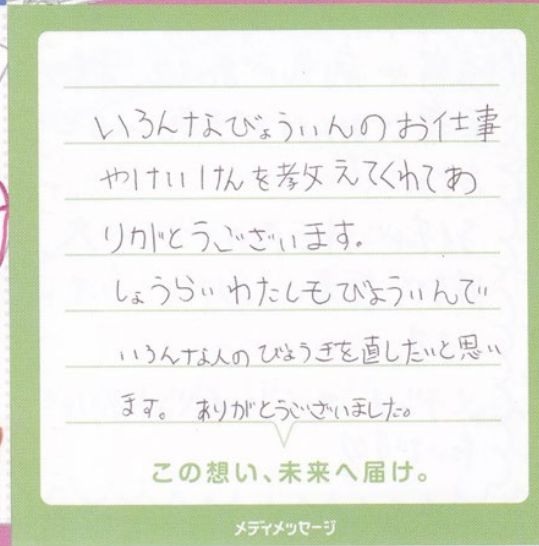
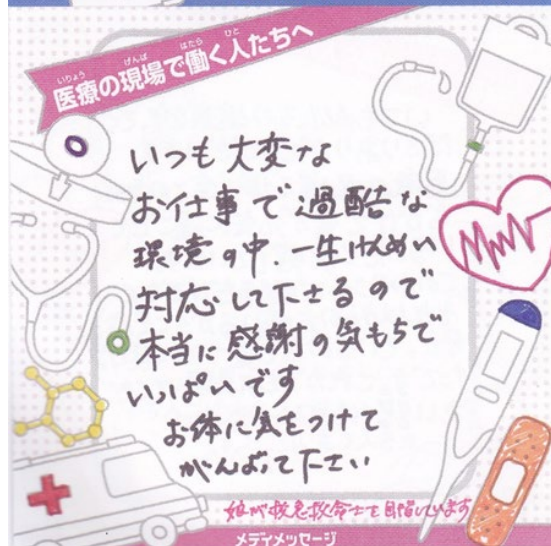
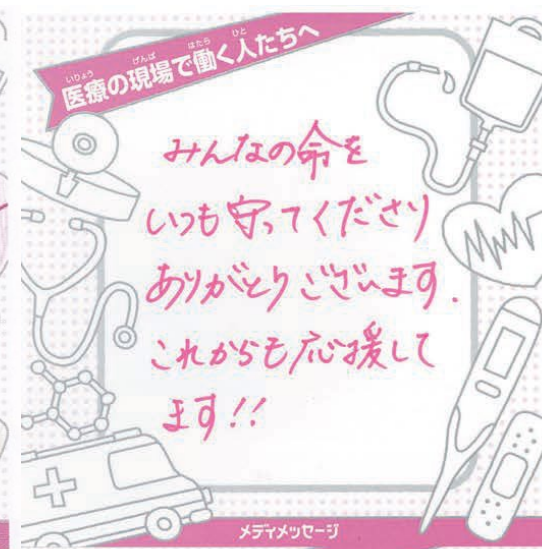
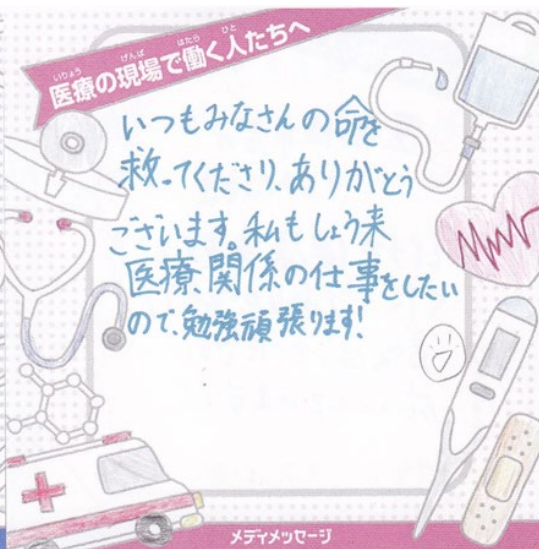
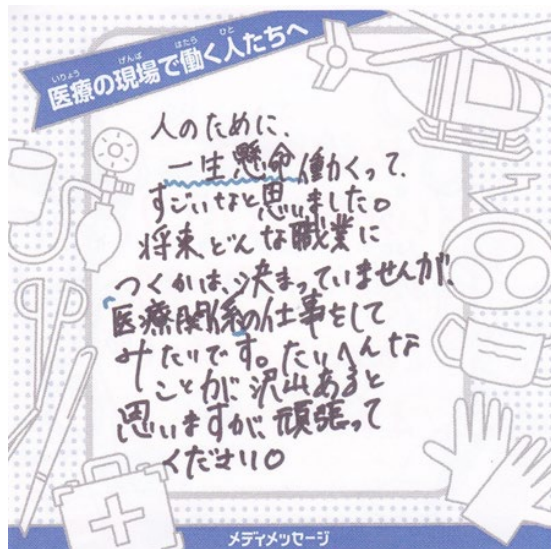
- 2週間にわたって掲出

Web広告

- Google広告、LINE広告を約2週間にわたって出稿

参加者からのメッセージ

メディアメッセージ



良かった点・反省点



良かった点

- 官民が連携し、「オール静岡」の体制で県民にメッセージが発信できる。
- 次世代の子供達が医療への関心を深めるとともに、将来の進路とする良いきっかけ作りになっている。
- 医療関連団体の医師会に対する信頼度が大きく向上するとともに、団体間での親交がより深まった。
- 医師会を含め、医療関連団体の費用負担が（地元企業の支援により）ほとんど無く済んでいる。

反省点

- 会場の敷地面積が東部・中部・西部で大きく異なり、各団体の利用ブース面積が大きく異なる。
- 当日参加する医療関連団体への謝礼等の余裕はなく、ボランティア参加となっている。
- 特に、医師の働き方改革の問題もあり、参加者個人ごとの依頼が必要となる。
- ブースごとの人気度に違いがある。